

# 下野市

市民と議会をむすぶ情報紙



# 議会だより

●発行：栃木県下野市議会 ●編集：議会広報特別委員会 ●☎0285-40-5561 ●FAX0285-40-5567



1月14日開催の第33回天平マラソン大会

## 目次

### 児童表彰（子ほめ）条例制定される

12月定例会の審議結果	2P～3P
一般質問	4P～9P
請願・陳情を出すには	10P



NO.3

平成19年2月15日発行

# 12月定例会の審議結果

12月定例会は、12月12日から15日までの4日間の会期で、諮問1件、報告1件、介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算1件、平成18年度各会計補正予算9件、条例の制定、一部改正及び廃止7件、後期高齢者医療広域連合の設立に伴う協議案件1件の計20件が審議されました。また、継続審査となっていた陳情書1件について所管の委員会審査の結果、一部（趣旨）採択と決定しました。議案の概要と審議結果等は次のとおりです。



地域包括支援センター  
みなみかわち

## ■人権擁護委員の推薦について

**（概要）** 人権擁護委員の館野晴代委員が平成19年3月31日付けで任期満了になるため、薬師寺の角田重治氏を推薦したものです。  
（全会一致で答申）

千円としたものです。

## 質疑

**議員** 包括支援センターを設置する特別会計だそうですが、南河内地区の直営と他2箇所の委託施設においてサービスの内容等に違いは生じないのか伺います。

**答弁** 基本的には地域包括支援センターの役割そのものには、変わりありません。  
（全会一致で可決）

■平成18年度下野市一般会計補正予算（第4号）について

**（概要）** 補正予算額9,722万9千円を減額し、予算総額194億349万3千円としたものです。

## 質疑

**議員** 土地開発基金が保有している土地を一般会計で普通財産として取得する説明ですが、場所と使用目的を伺います。

**答弁** 国分寺給食センター駐車場、尼寺周辺、石橋南部土地改良地区内の一般農道用地等を一般会計に買い戻すものです。石橋町分の9,950㎡、金額で1億

7,800万円程の土地が基金として保有し残っているものです。

## （全会一致で可決）

■平成18年度下野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

**（概要）** 補正予算額7,181万3千円を追加し、予算総額49億7,193万2千円としたものです。  
（全会一致で可決）

■平成18年度下野市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）について

**（概要）** 補正予算額425万6千円を追加し、予算総額22億947万1千円としたものです。  
（全会一致で可決）

■平成18年度下野市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について

**（概要）** 補正予算額5,944万2千円を追加し、予算総額18億7,316万3千円としたものです。  
**質疑** 議員 今回124万7千円の補

正は処理場の整備事業負担分ということですが内容を伺います。

**答弁** 新しく建物を建てたのではなくその中の一部を変更したものです。  
（全会一致で可決）

■平成18年度下野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について

**（概要）** 補正予算額1,933万1千円を追加し、予算総額4億3,062万円としたものです。

## 質疑

**議員** 吉田東処理区のクリンセンター内施設の工事予算なのか伺います。  
**答弁** 処理施設内ではなく排水先下流の苦情による周辺の汚泥引抜をするものです。  
（全会一致で可決）

■平成18年度宇都宮都市計画事業下古山土地地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）について

**（概要）** 補正予算額208万8千円を追加し、予算総額1億1,971万円としたものです。  
（全会一致で可決）

■平成18年度宇都宮都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)について

(概要) 補正予算額45万4千円を追加し、予算総額6,043万円としたものです。

(全会一致で可決)

■平成18年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)について

(概要) 補正予算額102万7千円を追加し、予算総額6億7,151万6千円としたものです。

(全会一致で可決)

■平成18年度下野市水道事業会計補正予算(第2号)について

(概要) 職員の人事異動に伴い人件費90万6千円を減額し、量水器購入費用243万2千円を増額したものです。

(全会一致で可決)

■下野市児童表彰条例の制定について

(概要) 下野市立小学校児童の良さを見出して表彰し、

児童に自信と誇りを持たせ、健全な心身の発達を助長するものです。

質疑

議員 今年度の表彰は旧国分寺のみ4名ということですが、他の2町の子ども達にも足並みを揃えることは出来ないのか伺います。

答弁 平成17年に旧国分寺町で5年生全員を表彰してきました。その後中途で転入してきた4名の子どもたちに対して、公正さ、各学校の継続性を重んじて判断したものです。この表彰制度の今後

のあり方、更なる充実を目指し実施していきたいと思

います。(全会一致で可決)

■下野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

(概要) 国の人事院規則の改正に伴い、基本的な職員の勤務時間を変更したもので、昼の休憩1時間をはさみ午前8時30分から午後5時30分までとしたものです。

(全会一致で可決)

■下野市特別職の職員で非

常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

(概要) 平成19年1月に市直営の地域包括支援センターを設置することに伴い、嘱託職員として新たに主任介護支援専門員と社会福祉士を配置するため、報酬月額を定めたものです。

質疑

議員 報酬は月額となっておりますが、非常勤職員は何日位の勤務なのか伺います。

答弁 勤務日数は職員と同じであります。

(全会一致で可決)

■下野市コミュニティセンター条例の一部改正について

(概要) 平成19年4月に開館するコミュニティセンター友愛館の名称、位置、使用料を定めたものです。

質疑

議員 使用料金の設定の基本的な考え方を伺います。

答弁 調理室の広さ、調理台の数、部屋の広さ等を基準に設定したものです。

(全会一致で可決)



建設がすすむ友愛館

■下野市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について

(概要) 健康保険法の改正に伴い、平成18年10月1日から保険給付として入院時生活療養費が支給されることになったため、条例を一部改正したものです。

(全会一致で可決)

■下野市自転車駐車場条例の一部改正について

(概要) 小金井駅東、自治医大駅東、石橋駅自転車駐車場の使用料を統一したものです。

(全会一致で可決)

■下野市監査委員条例の廃止について

(概要) 監査委員の定数が地方自治法で規定されたため、条例を廃止したものです。

(全会一致で可決)

■栃木県後期高齢者医療広域連合の設立に関する協議について

(概要) 平成20年4月1日から後期高齢者医療の事務を処理するため、栃木県後期高齢者医療広域連合の設立協議について議会の承認を求めたものです。

質疑

議員 広域連合の議会の議員はいつどこで決められるのか伺います。

答弁 首長又は議員から1人選ぶことになりましたが、3月議会までに相談させていただきます。

(全会一致で可決)

■陳情

継続審査となっていた陳情1件は趣旨について賛同し、一部(趣旨)採択とされました。

「教育基本法「改正」案の慎重審議を求める意見書を学校と社会に生かすことを求める陳情」

# 市政をただす

## 一般質問

12月13日・14日に10人の議員が市政に対し一般質問を行いました。その概要をお届けします。



吉田 聡議員

### 平成19年度予算編成方針は

市民との協働による行政改革

**問** 平成19年度予算編成方針と行財政改革への取り組みについて伺います。

**市長** 行政の簡素化を推進し、施策、事業の適切な評価を行い、優先順位を明確にし、メリハリのある予算になるよう努力します。類似公共施設の統廃合や行政組織のスリム化、指定管理者制度の導入など市民と協働による行財政改革を推進していきます。

また、平成19年度一般会計予算は170億円前後を予定しています。

**問** 庁舎は市のシンボルであり、合理化を図る意味でも新庁舎建設は早期に着手すべきと考えます。新庁舎の建設時期はいつごろか伺います。

**市長** 策定中の総合計画の中で位置づけされると思われますが、前市長同様、特例債が活用できる残り8年

間の後半の時期に考えています。

**問** 国分寺小の耐震については老朽化のため、平成20年度を目標に改築をするという事でPTAも理解をしています。その方針は変わっていないか伺います。

**教育次長** 合併前は改築の方向付けがされていましたが、財政状況を勘案した結果、市としては耐震補強をもって対応していくことになりました。

**問** 通学路が生活道路として利用され、車の交通量が多く、危険箇所が見受けられます。歩道の設置など通学路の整備にどう取り組んでいくのか伺います。

**市長** 警察との連携はもとより、学校安全ボランティアや保護者、教職員等の協力により児童生徒の安全確保に努めています。

道路整備については、道路評価をして優先順位を決めています。通学道路は一般道に比べて1割増の評価をつけて整備を行っていきます。

**問** 畜産経営は安全な食の生産、流通が求められる上に、臭い等の環境問題にも対応しなければなりません。

市の畜産家が今後も持続的に発展していくための振興策について伺います。

**市長** 防疫体制の確立が重要と考えており、県の関係機関と連携を密にし、衛生意識の高揚や家畜衛生情報

の早期提供に努めています。

市の事業としては予防接種、消臭剤等に対する補助を行っており、今後も畜産業の振興のため継続していきたいと考えております。



野田 善一議員

### 共に生きる社会の実現に向けて (社会的セーフティネットの再構築)

下野市独自の方策を検討

**問** 「いざなぎ景気」を超えるとされる経済状況のもと、大企業が繁栄を謳歌しているなかで、所得格差、経済格差が進行中。この現状をどう判断しますか。

社会的不平等が拡大する一方、社会保障の広い分野で負担増とサービス(給付)の低下が顕在化しています。

豊かさや幸福感を誰もが

実感できる社会を実現するために、縦びかけた社会的セーフティネットワークを再構築することが是非とも必要であると思いますが、いかがですか。

**市長** 景気が回復したという実感は多くの国民は持っています。また、社会保障が後退しているのも事実。市独自でできる施策を打ち出してまいりたいと考えます。

**問** 「障害者自立支援法」の施行と、それを受けての「条例」の改正により、子ども発達支援センターこばと園の保護者の負担はどうか変化しましたか。

**社会福祉課長** 所得の高い層の利用料が下がり、低い層の負担が重くなりました。



**問** 減免措置の考えと園の小学生までの延長について伺います。

**市長** 鋭意調査いたします。

**社会福祉課長** 小学生まで実施する方向で検討しております。



**問** すみれ、なのはな両作業所は「支援法」により他の施設への移行が予想されます。また、福祉サービスを利用しての障害者に対して、利用料の割の支払義務が導入されることにより、工賃よりも支払う利用料の方が高くなるケースも想定されますが、これに対する考えは。

**健康福祉部長** 両施設の方性は鋭意検討していきたいと思います。利用者負担に関しても、国の動向を勘案しつつ、研究していきたいと思います。



塚原良子議員

### 総合教育振興計画は

策定に向け検討

**問** 下野市総合教育振興計画の策定をする考えはないか伺います。

**教育長** 市民の皆様のご意見をいただきながら、計画の策定に向けて進めてまいりたいと考えています。

**問** ホームページ上に教育長の部屋、教育長だよりを設置する考えはないか伺います。

**市長** 下野市のホームページの中にあります教育のコーナーを拡充発展させながら、今後考えていきたいと思っています。



**問** 教育委員会と学校関係者、市民との対話集会をすべきと思うが考えを伺います。

**教育長** 保護者との懇談会については、11月13日勤労青少年ホームで開催しました。今回は開催時間や人数を考慮し、テーマを決めて計画したいと考えています。

**問** 中学校での部活動の問題点について伺います。

**教育長** 懇談会での保護者の意見もふまえて、子供達の要求、要望にこたえながら、部活動の望ましい方向を行政としても、学校を援助して進めていきたいと思っています。

**問** 障害を持つ子の居場所や土・日曜日の学童保育の実施を認定こども園への委託事業として採用されるお考えはありますか。

**市長** 需要を見きわめながら先進事例を参考に検討してまいります。

**問** 駅東多目的広場に設置された健康遊具について、今後も同様の施設の予定はあるか伺います。

**市長** 現在建設中の集会施設を含め、地域の要望にこたえた形で施設整備が図られたと考えています。新しい形の公園ですので、その効果を十分研究してまいりたいと考えています。



駅東多目的広場の健康遊具



議員 黒目 雄

### ファミリーサポートセンターの設置を

設置の方向で現在検討中です

**問** 「若者の出会いの場」

つくりについて伺います。

**市長** 現在、下都賀地区農業後継者結婚推進協議会で、結婚相談事業として男女の出会いの場を提供しております。今後、他の自治体の取り組み状況等を研究してまいりたいと考えています。

**問** 道徳教育の推進について伺います。

**教育長** 学校教育計画の重点項目に掲げ、児童、生徒が身についた道徳性を行動に移せるよう、学校、家庭、地域が一体となって啓発に努めています。

**問** 市の地域に応じた子育て支援対策を伺います。

**市長** 結婚や子育てに喜びや夢を持ち、安心して子育てを産み育てられる環境を整えるとともに、市民や地域社会が一体となって子育てを支援する仕組みを推進してまいります。

**問** 出生率の向上のために、ファミリーサポートセンターの設置の考えを伺います。

**健康福祉部長** 設置に向けて現在、検討を進めています。

**市長** 乳幼児に対しては、

健診時に虐待の疑いの発見に努めているほか、虐待予防スクリーニングシステムによるアンケート結果をもとに虐待リスクを把握し、必要時の支援につなげております。

児童、生徒に対しては、

表情の変化、欠席状況、必要以上に傷を隠そうとするなどの不自然な言動、面談や家庭訪問時の保護者の言動など、さまざまな角度から確認しております。

虐待が疑われる場合には、直ちに児童福祉課へ通報し、虐待の事実が確認された場合には、関係機関等と連携して、支援方法を検討しております。



議員 小谷 晴夫

### 自治医大駅西口広場の安全対策を

樹木の伐木及び剪定と2基の照明灯を設置します

**問** 市道石3003号線の

場所の指摘及び要望に対する市の対応を伺います。

**市長** 孝謙天神社から国道352号線までの区間が開通しました。

**市長** この道路は石橋中学校の多くの生徒の通学路になりましたが、防犯灯の設置について伺います。

**市長** 交通安全対策上、防犯灯の設置は必要であると考えております。

**市長** 今後、地権者、土地改良区など関係者の皆様のご協力を賜り、設置に向けて検討してまいります。

**問** 祇園原地区JR線路西側の防犯灯の設置について伺います。

**問** JR自治医大駅西口の駅前広場は、周辺に商店も少なく、非常に薄暗く、利用者の方々は危険を感じております。駅前広場の安全対策について伺います。

**市長** 現在、東京電力の電柱が無いことから、設置工法について早急に関係機関と協議を進めてまいります。

**市長** 街路灯の明るさと歩行者の安全を確保するため、街路樹の伐木を含めた剪定及びアーム型照明灯を2基設置する工事を発注し

**問** 学校ボランテアの方々からの通学路の危険な



たところでは。



自治医大駅西口広場

**問** 下野市におけるスクールのバスの導入の考えを伺います。

**市長** スクールバスの導入となりますと相当な経費が必要であり、つきましてはもう少し研究する時間をいただきたいと思います。

あります。

**問** 学童保育の運営と整備計画について伺います。

**市長** 県内には254の学童保育が運営されており、23%が公設公営、77%が公設民営であり、今後はメリット、デメリットを十分精査し保護者や関係者と相談しながら公営、民営の方向づけを研究してまいります。



須藤 勇議員

### 農地・水・環境保全対策について

旧町ごとに3地区を指定

**問** 下野市における農地・水・環境保全対策についての、取り組み状況について説明を求めます。

**市長** 指定団体数は旧町ごとに1地区と考えておりまして、平成19年におきましては、石橋の下古山地区を計画しております。国分寺地区においては平成20年度、南河内地区におきましては平成21年度に計画しています。助成金の割合は、国50%、県25%、市25%の割合です。

**問** 支援事業と営農活動支援事業があり、どちらも対象になります。

**市長** 担い手を中心とした農業構造の確立を計るために、平成19年度からスタートする対象事業であります。新たな対策では一定要件を満たした認定農業者や集落営農組織に限定して品目を横断して経営所得安定対策を実施していくもので

施設整備については、南河内児童館学童保育は新たに分離新設し、薬師寺小児童保育は増設する方向で、古山小児童保育は就学児童数の増加が見込まれ、新設する方向で検討してまいります。

**問** 子供の居場所づくり、放課後プランについての市長の考えを伺います。

**市長** 文科省の放課後子供教室推進事業と、厚労省の放課後児童健全育成事業を、連携した総合的な放課後対策として推進するものであります。県自体の補助要項も不透明であることから、新年度早期の事業化は困難

かと考えております。

今後は、公民館の青少年講座として事業内容を精査して、ボランティアとの協働による事業の展開を図ってまいります。



学童保育



磯辺 香代議員

### スクラップアンドビルドへの具体的アプローチについて

行政評価システムを導入

**問** 従来、「総合計画」は「足す」発想で書かれ、「行政改革大綱」に「見直し」を掲げながらも事務事業は膨張してきました。「足す」発想ばかりでは、償還金、ランニングコストなど後年度の負担が増加する一方であり、財政の硬直化の進行が避けられませんが、策定予定の「総合計画」は今までのように人口、税増収、経済成長の前提でつくるとの考えを伺います。

**市長** 人口、税収とも、地方都市としての下野市の実状、展望を十分見極め、総合計画の策定に必要なものだけを前提条件として峻別し、ま

た、安易な楽観的財政見直しは回避してまいります。

**問** 事務事業の廃止、見直し（スクラップ）についての工程を伺います。

**市長** 平成20年度から市が行う全事務事業に関し、住民意見を組み入れるなかで、事業の有効性、効率性を一定の指標を用いて評価することのできる行政評価システムを構築したいと思っております。

**問** ごみ行政の今後の課題について伺います。

**市長** ごみに関するアンケート

ト結果と環境美化推進委員会で議論を踏まえ、ごみ減量やリサイクルの方策を鋭意検討していきたいと思えます。

**問** 下野市のごみ処理は二通りに分かれています。平成18年度策定予定の「ごみ処理基本計画」ではこのことをどう取り扱うのですか。

小山広域の「ごみ処理施

設建設基本構想」において、

処理に関する数値を決定しなければならぬ期限はない

つですか。

**市長** 旧町時代のそれぞれ



村尾光子議員

### 国保個人カード化の実施は

平成20年10月までに完全実施

**問** 現行の事後審査型条件付一般競争入札の基準額をさらに引き上げるべきではないかと考えますが市長の見解を伺います。

**市長** 電子入札の運用とあわせて条件付一般競争入札の基準額の引き下げについても検討してまいります。

**問** 官業癒着防止のため、どのような対策を講じているのか伺います。

**市長** 発注者と受注者の癒着の疑惑を招かないよう透明性、公正性確保の観点から予定価格の事前公表などを実施しております。

公的機関の活動の原資は税金であることを常に念頭に置き、入札制度の改革に努めてまいります。

**問** 職員の県内出張の際の旅費日当の支給廃止を提案します。

**市長** 今後国の人事院勧告、人事院規則の改正や県及び近隣市町の動向を見ながら検討してまいります。

**問** 各種委員会などの委員の報酬額の多くは条例で日額8,000円と定められておりますが見直しを求め

**市長** 合併協議会の確認結果を参考とした日額8,000円が現時点では妥当性のある金額と考えております。

**問** 国民健康保険証の個人交付を利便性を高めるため早期にお願いします。

**市長** 平成20年10月には県内一斉に一般保険証を、平成21年8月には高齢受給者証のカード化の実施を決定しております。

**問** 職員の精神保健対策として産業カウンセラーの配置等をどのように考えているか伺います。

**市長** メンタルヘルス対策には注意を払い、専門家の医師を産業医として委嘱し、健康相談を全職員対象に継

続的に実施しております。

**問** 市民活動支援センターの設置をお願いします。また南河内地区（仮称）総合保健福祉センター建設に向けた設計見直しはどのような段階なのか伺います。

**市長** 支援センターの設置は既存の行政施設の利用を前提に平成19年度中を考慮しております。

総合保健福祉センターも



岩永博美議員

### 市税等の収納率向上対策は

催告や差し押さえも視野に

**問** 市の財源確保には、徹底した徴収が望まれる。悪質な滞納者に対する措置として強制執行や行政サービスの停止等の考えはないのか伺います。

**市長** 滞納者に預貯金や生命保険、給与所得がある場合は、催告や差し押さえ等、状況に応じた対策を行っております。

**問** 知事と市町村長との政策懇談会で県と市町村が共同で滞納整理を行う市税収入確保対策に関する委員会等を設置し、税収確保に協力して取り組むとしているが、市は組織を設置したのか伺います。

**市長** 平成19年度から県と市町村の職員の共同による組織が設立されることになりました。本市からも職員

庁内において協議しているところですが。



宇都宮市市民活動サポートセンターの様子



の派遣を予定しております。

**問** 学校週5日制対応事業の「土曜子供クラブ」は本年度で国の補助金が終了するが、今後の考えを伺います。

**教育長** この事業は小学生を対象にした子供の居場所づくり事業で、今後の展開としては同様に実施してまいりました国分寺地区、すでに公民館事業として実施してきた南河内地区も引き続き公民館主催の青少年講座に位置づけをして開催してまいります。

**問** きらら館トレーニング室は合併後、利用者が増加し、長時間経過しないと利

用できない状況です。対策は考えているか伺います。

**市長** 機器の配置状況を確認したところ、バイク機器等6台の設置が可能のため、機器の配置変えや指導員の確保の準備を進め、少しでも待ち時間が解消できるように努めていきたいと考えております。



きらら館のトレーニング室

策として取り組んでいきたいと考えています。

**問** 今後の財政状況を考えると特例債の有効活用はやむを得ない状況です。

**市長** 特例債の活用は総合計画の中で重要な位置づけになると思いますが、優先事業をよく勘案しながら取り組んでいきます。

**問** 集中改革プランの進捗状況、今後の取り組みについて伺います。

**市長** 集中改革プランは平成21年度までを計画期間として、緊急に行政改革の推進を迫られている事項をとりまとめ策定したものです。「総合計画の策定」は、市民アンケート調査の集計作業に入っており、平成19年12月議会で基本構想部分の議決を予定しています。

「行政評価システムの確立」は平成20年度から全

務事業を対象に導入予定です。

「使用料・手数料の適正化」は、上下水道料金や公共施設の利用料金について事務事業の費用に見合う適正な算定基準を再検証してまいります。

他にも多くの項目で改革に向けた作業に着手しており、今後も引き続き努力してまいります。

**問** ライフスタイルの変化により自治会加入率が低下しています。

行政効果を高める身近な団体は自治会であり、円滑な自治会運営を行うためにも加入促進に取り組むべきと考えます。

**市長** 安全・安心な生活は地域のネットワークから生まれるものであり、自治会の皆様のお力添えによるものと考えていますので、できる限り加入していただけるよう努力してまいります。



倉井賢一議員

### 自立に向けた財政計画を

合併特例債の有効活用

**問** 平成19年度の予算規模、重点施策について伺います。

**市長** 予算規模は170億円程度を考えており、新市建設

計画を基本に少子高齢化に対応する福祉施策、学校教育の環境整備、更には下水道整備や区画整理事業などの生活環境の整備を重点施

策として取り組んでい

本会議の会議録は市のホームページ上で見ることができます。

<http://www.city.shimotsuke.lg.jp/>

議会（議会事務局）から会議録検索のページにお入りください。本会議終了後約2ヵ月後から閲覧できます。

## ◆ 請願・陳情を出すには ◆

市議会に対して請願をするときは、一定の書式が必要であり、文書でしなければなりません。

請願書には、趣旨、提出年月日、提出者の住所氏名を記入して押印し、さらに表紙には必ず1名以上の紹介議員の署名押印が必要です。  
また、請願と似たものに陳情があります。

請願は議会側に受理義務と執行機関側に誠実な処分義務がありますが、陳情についてはこのような義務はなく、あることについて適当な措置をとってもらいたいという訴えにすぎません。

請願と陳情はこのような違いがありますが、機能面ではあまり変化はありません。陳情には、議員の紹介はいりません。



### (記入方法)

- ① 要旨、理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ③ 請願書は1人以上の紹介議員が必要で、表紙に自署による記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が見つからないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等を付けてください。



### (表紙)

下野市議会議長(氏名)様  
請願(陳情)者の住所  
氏名 ㊟  
紹介議員 氏名 ㊟  
〇〇〇についての請願(陳情)  
● (要旨)  
● (理由)

## 議会を傍聴してみませんか?

平成19年第1回定例会は3月上旬に開会を予定しております。

日程等決まり次第ホームページ上 (<http://www.city.shimotsuke.lg.jp/>) でお知らせいたします。

## ● 議会の動き ●

10月27日	教育福祉常任委員会
11月11日	議員倫理等調査特別委員会
12月20日	議員全員協議会
12月22日	下野市合併記念式典
5月12日	議会運営委員会
5月12日	第4回定例会(開会)
5月12日	議員倫理等調査特別委員会
5月12日	教育福祉常任委員会
5月12日	議会広報特別委員会
13・14日	(一般質問)
15日	定例会(閉会)
20日	教育福祉常任委員会
10月10日	議員全員協議会
10月10日	議員倫理等調査特別委員会
16日	議会広報特別委員会
16日	経済建設常任委員会
23日	議会運営委員会
23日	議員倫理等調査特別委員会
2月5日	議員全員協議会
2月5日	議会広報特別委員会

## 編集後記

財政破綻した自治体がある中で、全国803市を対象にアンケート調査した結果、9割の自治体で他人事ではないと回答している。下野市が誕生して1年が過ぎた。議会は執行部のチェック機関として市政に参画し、住民福祉の向上に努力している。

厳しい財政事情であるが市民のためのまちづくりを進めたい。

(須藤 勇委員筆)

### ◆ 議会広報特別委員会

委員長 秋山 幸男  
副委員長 吉田 聡  
委員 野田 善一  
須藤 勇  
小谷野晴夫  
石田 陽一

### ー お詫びー

議会だより2号の6ページ「選挙代表監査委員の決算審査報告から」の中で、「収入済額を減少させ徴収率のアップ」とあるのは「収入未済額を減少させ徴収率のアップ」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。